

第149回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成23年6月)

2011.6.30

株式会社 岩手朝日テレビ

第149回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 23年 6月30日 (木) 11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ 3階 会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 6名

委員長	増子 義孝
副委員長	村田 久
委員	小田島 利昭
委員	笠川 さゆり
委員	そのだ つくし
委員	弭間 俊則

欠席委員数 1名

委員	吉田 政司
----	-------

会社側出席者名

代表取締役社長	富永 健治
専務取締役	辻 一成
取締役総務局長	小林 直紀
取締役	長生 正広
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作部長	鈴木 敦
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	落合 成範
番組審議会事務局	佐藤 清一

4. 議 題

- (1) 合評番組
「十五のころ」
- (2) 7月単発番組について
- (3) 次回審議会
開 催 日：平成23年7月27日(水) 11時～
岩手朝日テレビ 3階 会議室
合評課題：第93回全国高等学校野球選手権大会 岩手大会
放送日時：平成23年7月14日～7月24日
- (4) 「放送番組の種別の公表制度」について
「放送番組の種別の基準」に関する諮問・答申

5. 概要

- ※ 富永社長から株主総会の様子が報告された。放送番組審議会委員の交代の報告がされた。
- ※ 落合事務局長から7月の単発番組と6月の視聴率について説明と報告がされた。
- ※ 朗読の語りは、良いと思いますが、テレビを意識しているのか次々と写真が出過ぎる。
- ※ 写真の代わりに文字がさらさら出てくる演出はインパクトがあって良い。
- ※ 15周年と十五のころと手紙をかけているとのだと思いましたが、その3点が上手にかみあっていない。
- ※ 題名が十五のころとは、十五歳のころをイメージしてなのか、ありがたいの気持ちを伝える番組なのか良くわからない。
- ※ 今回の大震災で打ちひしがれた私たちの心に、この一通の手紙「十五のころ」は小さな明かりを灯してくれている気がする。

6. 議事の内容

落合事務局長 それでは、只今より、第149回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。

 それでは、増子委員長、議事をお願いいたします。

増子委員長 それでは富永社長、一言お願いします。

富永社長 本日もお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

 6月20日に弊社株主総会が行われ、非常勤1名の交代がありました。役員は替わっておりません。

 また、4年ぶりに黒字決算となりました。

 それと、6月17日から19日まで県民会館ではやぶさ展を開催いたし、12,234名の方々が来場され、無事に終了致しました。15周年のイベントは秋にも開催予定であります。

 それから、岩手銀行さんの常務が交代なされ、番組審議会の委員でもありました、吉田常務が退任なされ、田口常務が新しく委員となります。今回はご出席致しませんが、来月よりよろしくをお願いいたします。

増子委員長 ありがとうございます。何かご質問等ございませんか？
無いようですので、視聴率と単発番組についてお願いします。

落合事務局長 では7月の単発番組と6月の視聴率についてお話しさせていただきます。7月は高校野球関連の番組が多くなっております。14日から開催されます、第93回全国高等学校野球選手権大会岩手大会の模様を実況生中継いたします。決勝戦は雨天中止がなければ24日を予定しております。

 またそれに伴い、14日から白球ダイジェストをIATスーパーJチャンネルの放送枠の中でお送りいたします。

 19日からは、「速報！甲子園への道」。各地方大会の熱戦の模様や代表校の注目選手等を紹介いたします。

 高校野球関連以外では、8日から11日まで第66回全米女子オープンゴルフを放送し、宮里藍選手や横峰さくら選手等の競技の模様をお送りいたします。14日～17日までは全英オープンゴルフ、18日からは世界水泳を放送予定でございます。

 また30日には「おらほの世界遺産」世界遺産登録に向けて住民や町の様子などがどのように変わるのか。パリでの世界遺産委員会の決議の様子などを交えながら放送いたします。

 視聴率ですが、全日7.3%で3位、ゴールデン11.8%で4位、プライム12%で3位、プライム2が6.9%で1位

でございました。前年比ですと数字が落ちています。要因は、昨年の6月に日本対オランダ戦が34.7%獲得し、対比いたしますとかなりの差が出ています。

プライム2はかなり落ちていますが、震災の影響ですか、節電やテレビ離れが原因かと思われま

増子委員長

ありがとうございました。何かご質問などございませんか。なければ合評課題に移ります。

小田島委員

十五のころを4回ほど見ました。4回の放送で各回、アナウンサーが変わり、人それぞれ違う語り口で、毎回楽しんでみることができました。作文をラジオで聞くのではなく、テレビを通して聴く。いろんな「ありがとう」があるんですね。これからも楽しみな企画です。

最初万年筆が出て原稿が出ますね。今日のタイトル活字が手抜きのように、流れるような文字にするとか、書いた人の文字を出すとか、工夫が欲しいと思います。

朗読の語りは良いと思いますが、テレビを意識しているのか、次々と写真が出すぎだと思いました。

アナウンサーが語りかけているのに、写真が多いので落ち着いて見ることはできません。写真の代わりに文字がさらさら出ているところがありました。そちらの演出はインパクトがあって良いのではないのでしょうか。

また各回お手紙を読みながら、書いた方のポイントを出すようにしてみてもどうでしょうか。

良い企画だと思いますので今後工夫して長く続いてほしいと思います。

笠川委員

小田島委員とほとんど同じ意見です。最初に出る壁や教室、ナレーションが耳に自然と入り、心地よく思いました。

手紙だけでも内容が伝わるのに、写真が多すぎだと私も思います。たくさん写真が出てくるのを見ていると個人的に好ましく思えません。

また、アナウンサーの技量によっても手紙を読んでいるだけで伝わり方も違うんだな、と思いました。

聞かせる思いを、手紙だから文章とナレーションだけで聞かせてほしいと思います。

15周年と十五のころと手紙をかけているのだと思うのですが、その3点がうまくかみ合っていないと思いました。

そのだ委員

今回の番組でお手紙の応募はたくさん来たのでしょうか。ネタがなくなるということはないのでしょうか。私も出そうかと思いました。あまりにも違和感がないのでコメントがうまく言えませんが、悪く言えば地味な番組ですね。よく言えば誰にでも見られる番組です。

写真についてご意見が出ていますが、個人の写真が出るのは生々しいと思いました。写真は画面半分位が良いと思いますね。アナウンサーの流れは良かったです。ホームページなどで流すことはないのですか？東北銀行さんがスポンサーなら、銀行さんで流すとかできないのでしょうか。

弭間委員

15周年のタイミングで、視聴者の気持ちを伝える番組の企画は良い企画ですね。私も心地よく見ることができました。スポンサーさんも喜んでいるのではないのでしょうか。

最初、合評課題と踏まえて十五のころという気持ちをイメージしながら見ていましたが、題名が十五のころとは十五歳のころをイメージしてなのか、ありがたいの気持ちを伝える番組なのか、題名とかみ合っていないように思います。ありがたいの手紙という題名ならわかるのですが、十五のころというタイトルは制作側の気持ちを伝えられたか心配です。数分の中でうまく伝わっているのか、企画意図を解説したほうが良いと思いました。

村田副委員長

十五のころというタイトルのつけ方、わかりませんね。何が十五のころなのでしょう。6月8日放送の題名は息子たちへありがとう。15日はご主人へありがとう。22日は妻へありがとう。ありがたいのころというタイトルの番組ならわかるのですが。

毎週変わるアナウンサーによってそれぞれ違う雰囲気味わうことができます。毎回読み上げる場所が違うところは、視聴者にとって楽しみの一つではないのでしょうか。場所の選定は工夫して欲しいと思います。

どんな家庭にも悩みや苦勞があり、それを写真を入れながらさりげなく語る勇気には感動します。投稿する方も勇気がいるでしょうね。家庭の絆や夫婦の愛の大切さを改めて認識ができました。

今回の大震災によって打ちひしがれてた私たちの心にこの一通の手紙「十五のころ」は小さな明かりを灯してくれている気がします。またここで流れる東北銀行さんのコマーシャルも被災者に向けた内容ですね。すごく良いと思います。

増子委員長

題名を見て、毎回15歳の人が出てくる番組かと思っていました。15編の番組なのかな、とも思っていました。

15周年にかけているのでしょうけど、視聴者はわからないと思いますよ。

アナウンサーが読んでいますが、写真が邪魔をして落ち着きがない番組になって残念です。目を閉じてゆっくり聞きたいと思っているのに写真が逆効果になってしまっています。

たった3分～5分の番組なのですからむしろ逆をいって、見る番組から聞かせる番組をイメージして今後制作してみてもどうでしょうね。ペンネームで放送していますが、写真が出ているのなら実名を出しても良いのではないのでしょうか。

鈴木報道制作部長

委員の先生方からの貴重なご意見ありがとうございました。この企画は昨年の春ごろから15周年のプロジェクトを立ち上げ、石川啄木に因んで十五のころと題名をつけました。サブタイトルをつければわかりやすかったと思います。15周年と掛け合わせ、15歳のころ、間口をフリーにしたのですが結果、わかりづらくなってしまったと思います。

村田副委員長

ロケーションする場所は良かったですよ。その場所でアナウンサーが読むだけでそれだけで良いですよ。写真は少しだけで良いと思います。

増子委員長

小学校や中津川それだけで良いのに写真が余計な演出ですね。イメージが壊れてしまって台無しです。

笠川委員

写真もそのまま出すのではなく、白黒とかセピア調にするとかすれば良かったのではないのでしょうか。

村田副委員長

この番組はいつまで放送するのでしょうか。

報道制作鈴木

来年の3月まで続く番組です。今回の震災で被災された方々が見ても、ほっとする番組にしたいと考えております。

佐々木報道制作局長

ホームページにも放送されなかった作品をアップしていこうと考えております。下期の制作に向けてご意見を反映させていこうと思いますので今後ともよろしく願いいたします。

増子委員長

ほかに何かございませんか。なければ次回についてお願いします。

落合事務局長 では次回についてご説明申し上げます。
次回は、7月27日水曜日の午前11時から弊社3階会議室
で開催いたします。合評課題は「第93回全国高等学校野球
選手権大会岩手大会」です。今回同様、貴重なご意見をお待
ち申し上げます。

増子委員長 それでは終了します。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置
ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
7月5日朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。
系列各局に議事録を送付。
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。
インターネットホームページに掲載。
9. その他の参考事項
「放送番組の種別の基準」に関する諮問・答申
※岩手朝日テレビから諮問された「番組種別の基準」は、原案通りで
適切であるとの答申を受けた。
10. 配布資料
 - ◎ 7月単発番組編成予定表
 - ◎ 6月岩手地区視聴率
 - ◎ 「放送番組の種別の公表制度」について